

令和5年度学校評価委員会（評価結果）

1、評価（別紙アンケート結果参照）

令和5年度の目標 『社会に役立つ主体性のある生徒を育成する』

- ・授業の充実 生徒が自ら考え、お互いが学びあえる、新しい取り組みに挑戦する。
- ・ルールを遵守し、礼儀を持って人と接することにより、他人を敬う心を身につける。
- ・基本的生活習慣を家庭、学校と連携し身につける。
- ・ボランティア活動等で地域に貢献し、自己肯定感、幸福感を高める。

① 令和5年度の評価

ア 評価できること

- ・集計結果から数値的には、昨年、一昨年来上回る数字となっていて、改善傾向、良化傾向となっている。
- ・挨拶が積極的に出来て良い学校生活ができています。
- ・地域でも挨拶、清掃活動をしてきていて親しみを感じる。
- ・熱心で授業はわかりやすく楽しく工夫され丁寧であった。
- ・資格取得のレベル（級等）が上がった。
- ・生徒との距離が近く、質問がしやすく楽しい環境である。
- ・ICTの導入で教員の教え方に幅が広がった。授業に合わせ使用されていた。
- ・授業に限らず体育祭、文化祭等の行事においても、生徒が主体性を持って企画、参加していた。
- ・藤枝市主催のアダプトロードに参加し、割り当てられた学校近隣の道路横の花壇の手入れ、花植え、水撒きを行った。その他、農業、市立図書館のお手伝いもボランティア活動としておこなわれた。

イ 改善が必要なこと

- ・自転車のマナーを徹底すべきである。交通指導カード発行数は昨年度を上回っている。
- ・交通違反は昨年に比べ増加した。大事故を未然に防ぐためにも今後も注意喚起強化が必要。外部からの苦情もあり。
- ・教員が授業に遅れたりしているようだ生徒からの信用を無くす。あってはならない。
- ・教職員が意識を同じ方向に向けていかなくてはならない。
- ・アンケートをまとめるだけでなく改善につなげることが大事である。A、Bの評価合計が全体の80%としたい。
- ・資格取得に関しては、学校からのアナウンスの充実、対策セミナーの実施が必要である。生徒からの積極性は、まだまだ欠けている現状、呼びかけ方法、雰囲気づくりも重要である。資格取得を通して、ライセンスを取得にすることにより生徒に自信をつけさせたい。
- ・資格取得の級レベルは上がっているが、全体的な受験者数を増やすことは出来ていない、合格数も少ない。
- ・教員によってわかりやすく工夫された授業がある反面、一部で説明不十分で理解しづらい授業がある。
- ・指導を必要とする遅刻数は、昨年を大きく上回っている。
- ・基礎学力定着への努力（生徒・教員双方に）が必要である。
- ・ルール、モラルの軽視が見受けられる。服装の乱れや公共エリアでのモラルの無さを指摘された。礼儀、マナー指導の強化が必要である。
- ・ボランティア活動が全体で行えていない。参加人数（実数）を増やしたい。生徒の内面を変えていくには、効果的である。
- ・生徒に自信をつけさせる取り組み、結果が学校の雰囲気を変えていくはずである。
- ・もっとICT機器の積極的な活用が必要である。

② 【6年度の目標・課題】

目標 『社会貢献できる主体性のある生徒を育成する』

- ①学びの充実 生徒が自ら考え、お互いが学びあえる、新しい取り組みに挑戦する。積極的な資格取得。
- ②ルール・モラル・礼儀を遵守し、誠実に人と接し、謙虚で他を敬う心を身につける。
- ③良好な基本的生活習慣の獲得を家庭、学校と連携し身につける。
- ④ボランティア活動を通し社会貢献し、自己肯定感、幸福感を高める。
- ⑤あらゆる分野から個々に自信をつけさせる。
- ⑥改善の可視化として、アンケート調査の数値目標を設定する。各項目 A+B 評価 80%を目指す。

2、評価の公開について

- ・学校通信 「静清だより」
- ・ホームページ
- ・校内掲示